

リョーサン菱洋グループ 熊野古道道普請(2025)

リョーサン菱洋グループは、和歌山県が主催する世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全と活用を目的とした「10万人の参詣道環境保全活動」の趣旨に賛同し、2019年より「熊野古道道普請ウォーク」に参加しています。今年で4回目の参加となるこの活動は、和歌山県の指導のもとで行われ、市民が世界遺産の保全に参加できる日本で唯一のプログラムです。いにしへの信仰の道を自らの手で守り、後世に伝えるこの取り組みは、まさにサステナブルな社会貢献活動です。

1月20日(木)～21日(金)の2日間、リョーサン菱洋グループから総勢31名がこの活動に参加しました。1日目は、世界遺産センターにて世界遺産や熊野古道に関する研修を受講し、活動への理解を深めた後、中辺路三軒茶屋跡周辺で補修土1.5トンを用いて道普請を行ないました。その後、道普請場所から熊野本宮大社・聖地大斎原まで約2.6kmをウォーキングしました。

2日目は、世界遺産「川の参詣道」熊野川に沿って新宮市の熊野速玉大社を訪れ、続いて大辺路を辿り熊野那智大社、青岸渡寺、飛瀧神社(那智滝)、串本橋杭岩など熊野の史跡と自然に触れ、参加者全員が、これらが未来に残すべき価値ある遺産であることを再確認しました。

リョーサン菱洋グループは、今後もこの世界遺産保全活動を継続してまいります。そして、この取り組みを通じて、経営ビジョン「お客様のニーズにお応えし 社会に必要とされる企業になる」を体現し、行動指針「貢献・協働・賞賛」を実践しながら、文化と自然を未来へつなぐサステナブルな社会を目指します。

1. 道普請(三軒茶屋跡付近)



2. 道普請の作業

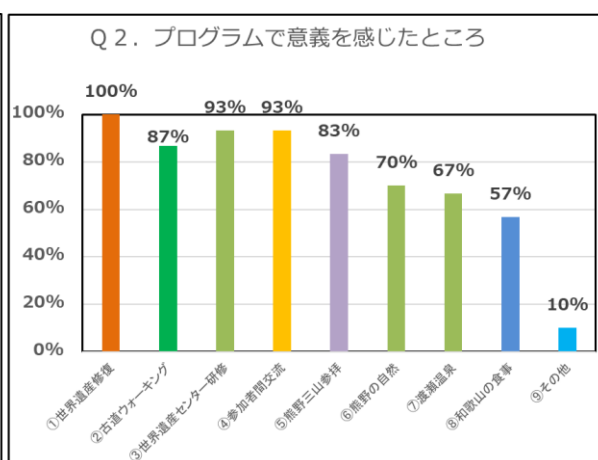
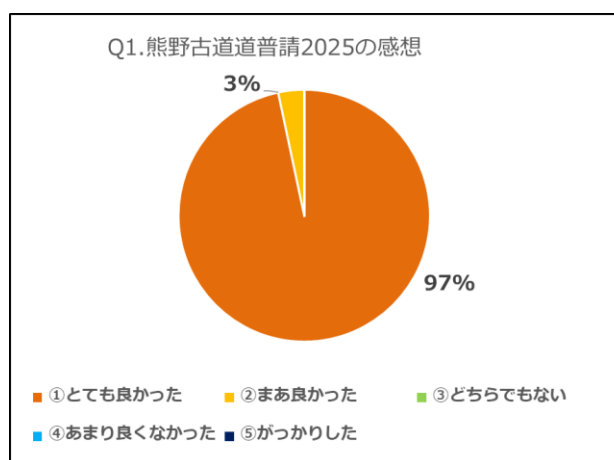


3. 熊野古道ウォーキング



<熊野本宮大社>

4. 参加者アンケートの結果



5. 参加者の感想

参加者からは、世界遺産保全の意義の理解、企業として地域に関わる責任、道普請の作業を通じて得られるチームの一体感、個人の達成感・誇り・喜びなどの感想が寄せられました。個々のコメントは以下をご参照ください。

- ・熊野古道の保全に直接関わり、文化遺産を守る責任とその価値を実感できたことは非常に貴重な経験だった。
- ・作業中に通行者から『ありがとう』『お疲れ様』と声をかけてもらい、活動が地域に役立っていることを肌で感じた。
- ・社名入りピブスを見た通行人が社名を口にされており、企業として地域に関わる責任を強く意識した。
- ・社会貢献活動に参加することで得る充実感を感じたので、今後も機会があれば貢献していきたい。
- ・海外出身者として、日本文化や世界遺産に触れる貴重な機会となり、社内の多様なメンバーとの交流も楽しめた。
- ・整備したばかりの道を観光客が喜んで歩かれる姿を見て、活動が社会に直接貢献していることを実感した。
- ・熊野古道の歴史や世界遺産の価値を現地で学び、自然と人の営みのつながりを深く理解する機会となった。
- ・事業統合前に両社の社員と一緒に汗を流し、同じ目標に向かって取り組むことで『一つのチームになる』という実感を得た。



<那智大門坂>



<那智滝>



<串本 橋杭岩>

6. その他

- ・和歌山県 世界遺産を守る 10万人の参詣道「環境保全」活動の詳細はこちら

リンク先 <http://www.sekaiisan-wakayama.jp/protect/fifth.html>

- ・[リョーサン菱洋ホールディングス【道普請】2025/11/20: イベントレポート\(ブログ\)](#)

- ・リョーサン菱洋ホールディングス CSR 部 お問い合わせ：rr-hds-csr@rr-hds.co.jp

Copyright © Ryoyo Ryosan Holdings, Inc. All Rights Reserved.